**2025 年 5 月（第 4 版）
*2015 年 10 月（第 3 版）

届出番号：28B1X00005000278

歯科材料 9　　歯科用研削材料

*一般医療機器　　歯科用研削器材　　「JMDN」70908000

ジルコンエース

【警告】

①高速回転下で使用されるため、切削中に破折し、人体を傷つける恐れがあるので使用上の注意を厳守すること。

②口腔内で使用する際には、必ずラバーダムを装着の上使用すること。

③過度の加圧で使用した場合には、破折・発熱の原因にもつながり人体を傷つける恐れがあるので、ソフトタッチ（フェザータッチ）を厳守すること。

【禁忌・禁止】

最高回転数を超えた使用はしないこと。最高回転数を超えた場合には、破折しやすくなり、人体を傷つける恐れがある。

【形状・構造及び原理等】

作業部（頭部）及びシャンク部からなり、作業部の形状・寸法に多種類のものがあります。作業部は、ダイヤモンド粒子を押し固めて焼結させています。

シャンクの形態：FG 用（外径 $1.6^{+0}_{-0.01}$ mm φ）

［原材料］シャンク部　　ステンレス鋼
　　作業部　　ダイヤモンド粒子

［原　理］歯科用ハンドピースに接続し、ハンドピースにより回転を与えることにより作業部も回転し、この回転により補綴物を研削します。

【使用目的又は効果】

補綴物等の研削に用いる器材をいう。（別に名称を定めるものを除く）

【使用方法等】

①歯科用ハンドピースに接続固定します。

②以下の最大回転数を厳守し、注水下又は水に濡らしながら補綴物の研削を行います。

作業部径	最大回転数
008 ～ 023	80,000rpm
023 ～ 040	35,000rpm
040	25,000rpm

【使用上の注意】

①ハンドピースメーカーの指示に従ってシャンクを確実に奥まで挿入して、半チャックでないことを確認すること。

②使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。

③破折防止の為、ソフトタッチ（フェザータッチ）で使用すること。

④本品を使用する際には、眼の損傷を防ぐ為に、保護めがねを使用すること。

⑤無理な角度、過度の加圧での使用は絶対にしないこと。

⑥洗浄、消毒・滅菌後の器具は水分を除去し、十分に乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると、錆、シミ等の原因となることがある。

⑦過酸化水素水と接触させないこと。

⑧次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポピドンヨード、ホルマリン、フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン等は金属を腐食させることがあるので、使用しないこと。

【保管方法及び有効期間】

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

使用前・使用後は、破損、ひび、傷、曲がり、腐食等がないか確認すること。異常が認められた場合は使用しないこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：株式会社　茂久田商会

連　絡　先：https://www.mokuda.co.jp

製 造 業 者：ホフ　リングレブ社／ドイツ

Hopf, Ringleb & Co., GmbH & CIE／Germany